



古今傳授書

全

特別
~4
8160



貴
八
8160

五
百
五

五
百
三
六

一
冊

在
未

永仁四年三月十三日

右近衛中将藤原為相朝臣

在判

古今切象北之帖存書不授与

應永廿三年 丙三月吉日

本書切象同

亦之帖

得授与





古今和歌集一 卷

去来波去来鴻尊史婦嫁合之時哥

他家之詭云官馬所喜

此詞院哥ト云

當家之詭云官之維地我哥ト云云と及

尊ト云の由年を少毛切ト云ウル由ト云及

と云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云

云云云云云云云云云云云云云云云云

故う波二人の山あふれ語らうとあふれ世云
朱波を末鴻尊の山報あふれいあふれ
人あふれあふれ其詞奇しと云

吾代与利始置也日奈鴻其潮国鴻介栢人
農情之子斗奈栢无農波史婦之間農嫁
也作礼波我志始婚合尾
下照姬二首奇半

あまのつやのあふれ想注よりきおそり今一首
秘あふれあふれ小志をあふれ万葉集あふれ作者あふれ
あふれあふれあふれあふれあふれ云

春苑紅介保布栢花下照道介立城婦
吾園之李花可庭介散波太礼能未遣在

可也

此方地也のあふれ仙人のあふれ也つて身あふれ
ふはは日おあふれ栢あふれと栢のあふれあふれ
西五母栢の之子年一はあふれあふれあふれ
くあふれあふれあふれ味栢産根神のあふれあふれ
のあふれあふれあふれあふれあふれあふれあふれ
あふれあふれのあふれあふれあふれあふれあふれ
あふれあふれあふれあふれあふれあふれあふれ
産根の神のあふれあふれあふれあふれあふれあふれ
乃思あふれあふれあふれあふれあふれあふれあふれ
あふれのあふれあふれあふれあふれあふれあふれ
死あふれあふれあふれあふれあふれあふれあふれ

欽と云々万葉云神龜元年冬十月
五日天白皇幸于紀伊國之所作奇云國
史云神龜元年十月^辛天皇幸于紀
伊國云今案主武王山内人欽他真
名席云山邊系人並云和名仙之仙者聖の
弟と云但注云得^テ顯謂之仙得意^ヲ神之真
得^テ德謂之聖ト云云取^テ註此山邊系人主武
天皇此山地名也万葉集云山邊宿禰系
人と書此云是主武の山製之其故天
皇の山製を凡人より云々云々奉^ル御事
云々恐ある云々云々云々万葉集云作名を
して入^ル山邊云々云々云々云々山製を
介^シ世々も作り名と云々書^ル云々之謂
也^ハ信^ト云々山邊もあり又姓名と作^ル云々云々
云々云々其例云々云々云々姓と山
邊云々云々山邊と云々大田山と云々あり
仍山邊と云々也^ハ山邊と云々又^ハ山邊
字と云々人^モ山邊と云々是^モ山邊の邊あり
亦^ハ山邊の明の字と云々云々云々云々
の字あり^ハ云々云々云々云々人^ハ人^ハ
中の人^ハ帝王也人の中の人^ハ云々云々也
云々云々云々由^テ表明王の云々又山邊と姓云
か^ハ山邊と云々云々云々山邊と云々云々
たり^ハ云々云々の云々高^クと云々云々人^ハ

と云ふは此の如く一せしめしむる事なれども
高く此の如く徳儀凡大吏ははる内を也実から
制道鏡法師也故ら制道流ハ本ハ法
の玉のら制と云ふ人地俗姓ハ何れハ氏
の子ハ何れハ聖と云ふ事ハ如意帰親等の
指者ハ云々ハ求剛指の法を一子日若
おひしひハ何れハ既ハ千日小海ハ何れハ
破壇ハ何れハ礼盤ハ何れハ何れハ大
三寸斗地蜂の如く高き川身はありて
おと道流ハ流ハ何れハ何れハ何れハ何れ
て可いハ何れハ何れハ何れハ何れハ何れ
を流ハ何れハ何れハ何れハ何れハ何れハ何れ

と云ふは此の如く一せしめしむる事なれども
高く此の如く徳儀凡大吏ははる内を也実から
制道鏡法師也故ら制道流ハ本ハ法
の玉のら制と云ふ人地俗姓ハ何れハ氏
の子ハ何れハ聖と云ふ事ハ如意帰親等の
指者ハ云々ハ求剛指の法を一子日若
おひしひハ何れハ既ハ千日小海ハ何れハ
破壇ハ何れハ礼盤ハ何れハ何れハ大
三寸斗地蜂の如く高き川身はありて
おと道流ハ流ハ何れハ何れハ何れハ何れハ何れ
て可いハ何れハ何れハ何れハ何れハ何れハ何れ
を流ハ何れハ何れハ何れハ何れハ何れハ何れ

ふしうは海河海の政とあり仕とこま二天
にありあし人あり二祝人太政大臣
を辭しはれ六もは法皇此信をよりけ
き榮耀前より改ましくは家あまうふまよと想
信より改りけあ和氣法皇此使者よりあ
宇佐の美人よりされしと毛沖明より
ましましつゝはくも公世法皇よりは後
初よりあまうし法皇を伊勢國にあら
けり加修の罪若くありしは法皇此下地
國薬師よりと云ふは流されたり太政大臣
の文を八段と云ふも是を前法皇の力也
法皇此信をよりつゝも流しを毛信姓帝孫

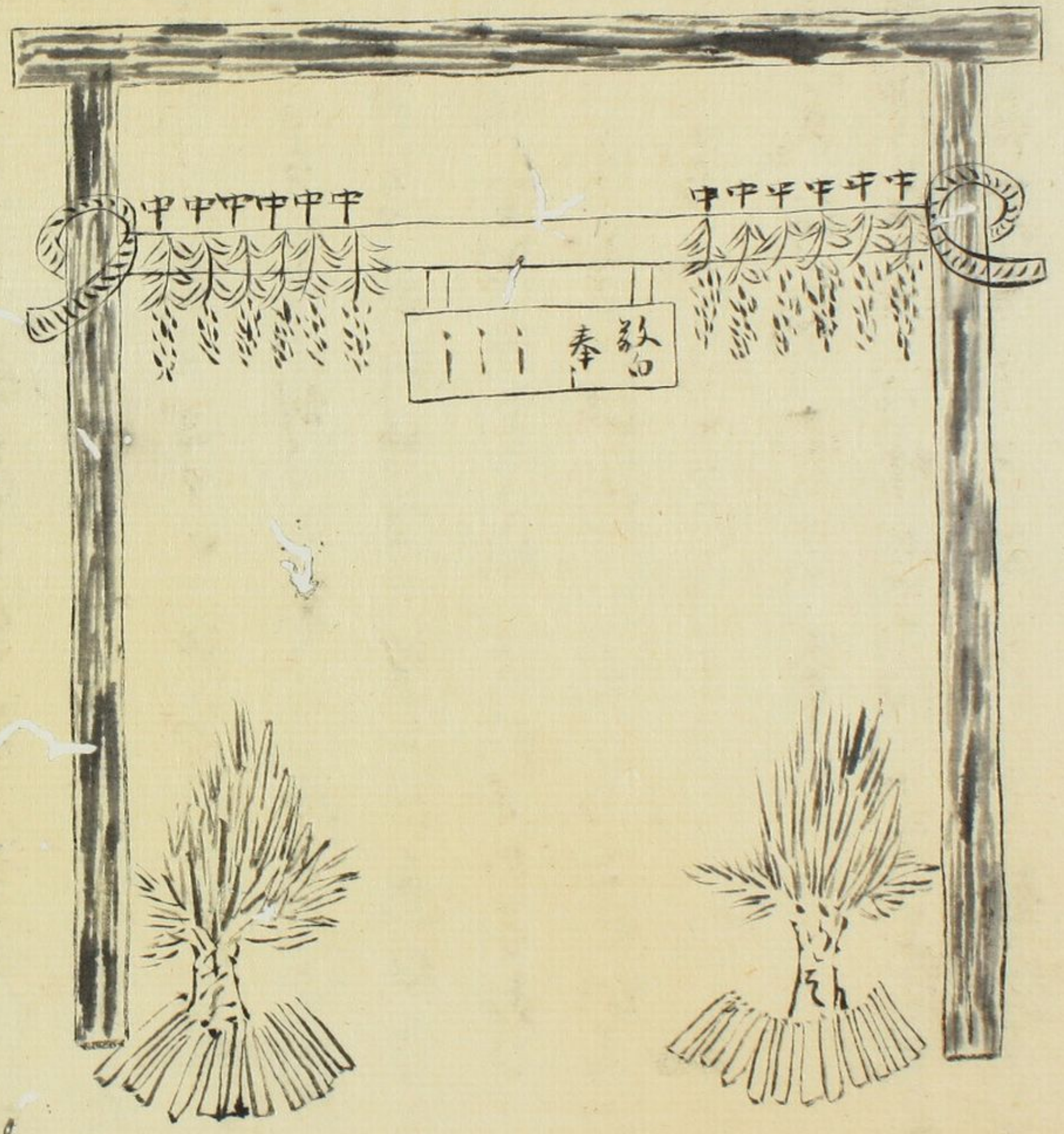
よりあ次御事ハあれたも是なり半ハ是なり
あし云ふしとく様ハゆしとくハは御事也
さしう小人あまうあはれをこの道流
よりま今様凡大吏と云ふは流されし時ハ信
の言を毛右政大臣の言を毛法皇此
信を毛流しより久しは太政大臣と云ふは
流されしは様凡大吏と云ふは此日云ふ
尊ハ彼様凡大吏ハ後流なり初ハ祝部の
姓を流しより也今も世まは様凡大吏ハ
とて下御事薬師よりあり

以上古今集より引く是れ七代天皇の御

一よりた御の本のり

此より一畝の木ハ物名の中に竊大奉也也
注ハ或ハ一畝の木を多と云うて大奉層
の時生氣のあり一畝或ハ栲木と云う
或ハ一畝と云うは木の葉ハ一畝層の御
也實節にハ正月門書と云一畝と云う
固木と破長廿二尺のりさのりさもた
之寸より多十二月あり一畝の年
よと云うて十二破と云う多と云う一畝月
あり一畝十二破を云一畝木一畝年の
月の午を墨を引十二月あり一畝
二より引一畝月あり一畝と云う引也
年始一畝木を門下置ハと云う一畝の木
と云う也一畝の字ハ一畝と云う一畝ハ新
一畝と云う一畝の字ハ一畝の字と云う一畝
と云う一畝一畝と云う一畝と云う一畝木
と云う一畝と云う一畝の木と云う一畝
其より一畝の字ハ一畝の字と云う一畝
一畝の字ハ一畝の字と云う一畝の字
て一畝の字ハ一畝の字と云う一畝の字

尾田新八事



此尾田志ん物右中二の秘章也浮葉ハ事の
 まりしとくも 存案しるべき事其の秘章
 以て予金吾不考し志んこといふことあり
 時後成りしよりまじくはけりし海時錦袋
 一卷の書紙より却て取らるる傳はるる書卷
 地八段ありし二代集り付し分秘事と名
 有りし巻物の中はとらたすの本尾事と
 ありたりし事んは尾事ととりて是は即志ん
 政事之秘新事也

水鷄澤寢天神御実名事

水鷄澤寢は心六神道の海とありしと太上威
 徳自在天王とす所名也と知ぬ事物也

家へこれハ詩講云

叩凍負来寒石月拂霜拾盡暮山雲

法華經抄抄ゆ一斗ハたきこり菜はこあらんは
和歌抄浦ノ志母とらねるるをまわす
田舎の山

比方ハ古今持方乃分ふといひて席の住の家
方也系人の四方人丸と師道とて方及
とありし旅の時引かゆ和方此浦知地り
ていさこよ金と海を長廿一尺の鶴を
銀めし十羽とら物り打て空とけりてと
く世くしひい若とていさこよのいさ
ハ高麗海小比方とくはたり竹地り物地
登ハ一丈之金千兩とくいさこよハ海なり

比方此方此知ハ和方此浦此和方ノ事
せ給ハ心志ハ方とくはたりはハ日
道とつらものらと満得の勢此ハとて
これハと云へるは方とくはたりはハ
たよはばぶハ一の事甚此海のこの
よまはつらハ和方とらをたけ給へり
人若方とて思はハと分あま見ん
云ハ此述懐ハ一人ハ和方とて
道とつらハと地述懐ハ

宇治山の喜撰法師事

比方治山の喜撰法師ハ作若ハ是ハ法和
天王の四身ハ甚極ハ宇治山ハ内表ハ大



